

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

## 2024年4月～6月期

### 第113回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

# 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - (1)前期比 令和6年1月～3月比
  - (2)前年同期比 令和5年4月～6月比
  - (3)来期見通し 令和6年7月～9月見通し
5. 業種別の景気動向
  - (1)製造業
  - (2)建設業
  - (3)卸売業
  - (4)小売業
  - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

## 1. 実施概要

### (1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	132社
回答率	26.4%

(業種別)

製造業	36社
建設業	37社
卸売業	9社
小売業	25社
サービス業	25社
合計	132社

### (2) 調査対象月

2024年4月～6月期

### (3) 調査依頼期間

2024年6月24日(月) ～ 2024年7月12日(金)

### (4) 調査内容

調査対象の第1四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（パート含む）、設備投資計画、業況の項目ごとに景況感を調査した。

### (5) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

### (6) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

## 2. 調査結果(DI)

### D I（景況判断指数）とは

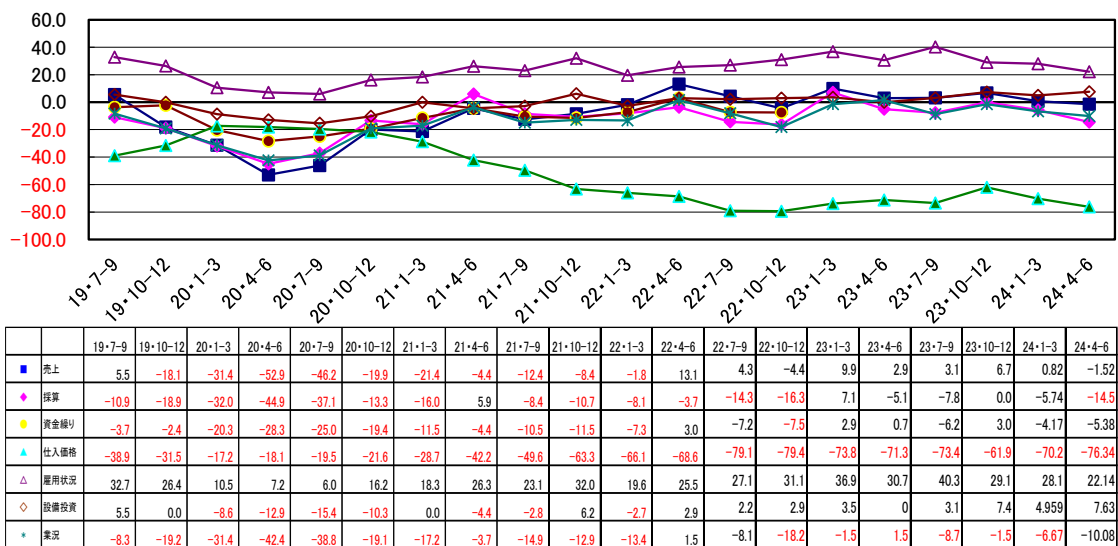
D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上D I	= (増加回答の割合) — (減少回答の割合)
採算D I	= (好転 " ) — (悪化 " )
資金繰りD I	= (好転 " ) — (悪化 " )
仕入価格D I	= (下落 " ) — (上昇 " )
雇用状況D I	= (不足 " ) — (過剰 " )
設備投資D I	= (拡大 " ) — (減少 " )
業況D I	= (好転 " ) — (悪化 " )

## 2. 調査結果 (DI)

前年同期比(全企業DIの5か年の推移)



## 3. 概況

### (1) 今期の特徴

今期は、全体的にDI値は下降している。特に円安や物価高の影響による仕入価格の上昇は業種問わず一貫して見られる景況感であった。業種別では特に卸売業においてマイナスに転じている項目が多かった。

### (2) 来期の見通し

来期の見通しは、円安や物価高の影響による仕入価格の上昇を懸念するコメントが多く見られた。業種によっては夏季の需要に期待するコメントも見られた。

### (3) 経営上の問題点

1位「原材料(仕入単価)価格の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の不足」、4位「人件費の増加」、5位「原材料・人件費以外の経費の増加」という結果になった。

### (4) 今後の対応策

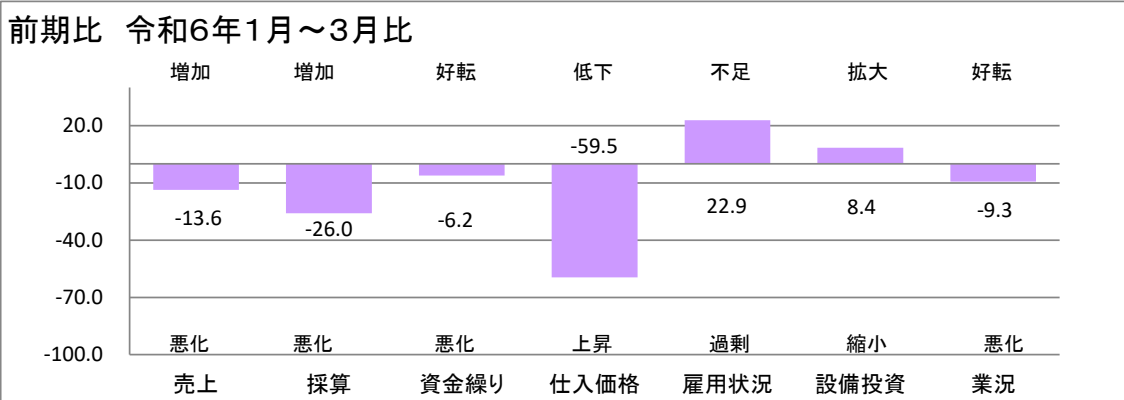
1位「生産性を向上させたい」、2位「従業員を新規雇用したい」、3位「新規市場を開拓したい」、4位「その他の合理化を実施したい」、5位「経営の多角化を行いたい」という結果になった。

### (5) 総括・分析

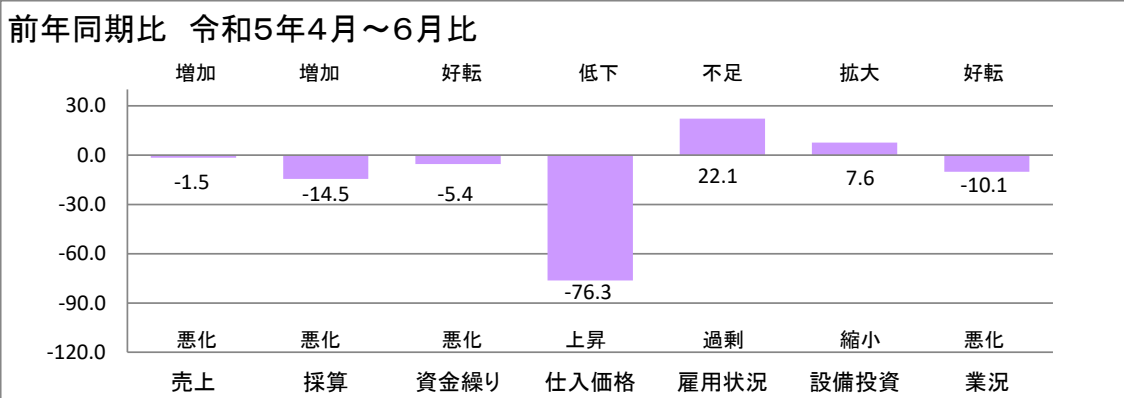
前期比は年度末との比較で悪化に転じた事業所が見られた。前年同期比は不変と回答する事業所が多かった。来期は夏季の需要増に期待するコメントが見られた。

また、国・県への要望としては県外企業に人材が流出しないように、空き家の活用やベースアップの補助を求めるコメントや中小企業の実情に合った施策を求めるコメントが多く見られた。

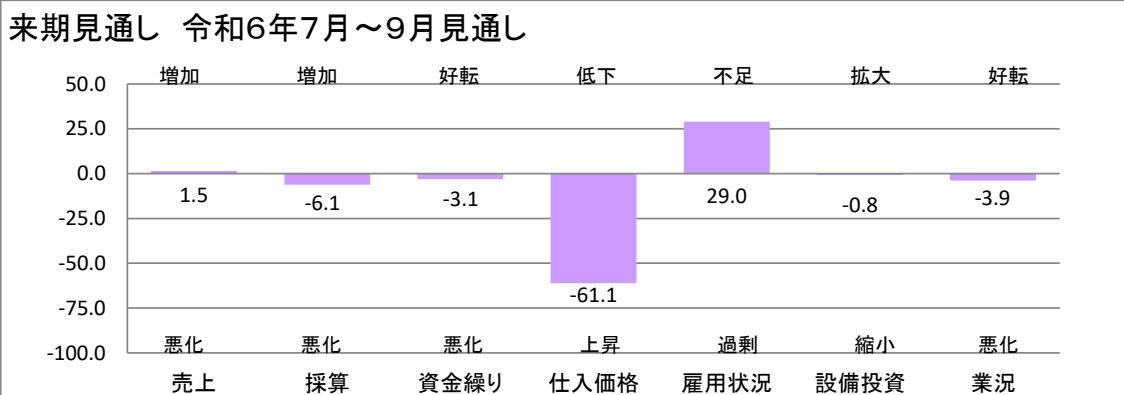
#### 4. 県内の景気動向(全業種)



前期と比較すると、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは悪化を示す結果となった。特に仕入価格DIが大きく悪化している。円安、物価高の影響による仕入価格の上昇で採算が悪化しているという事業所が見られた。



前年同期と比較すると、仕入価格DIが大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目はマイナスを示す結果となった。仕入価格上昇による利益の減少を懸念するコメントが見られた。

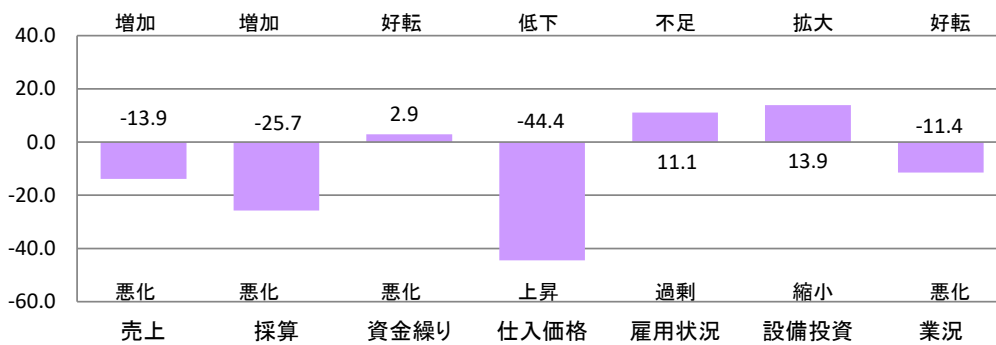


来期の見通しは、売上DIはわずかに増加、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスを示す結果となった。仕入価格の上昇や円安の影響を懸念するコメントや新紙幣発行に伴う設備投資を行ったというコメントが見られた。また、業種によっては夏休み期間の需要を期待するコメントも見られた。

## 5. 業種別の景気動向

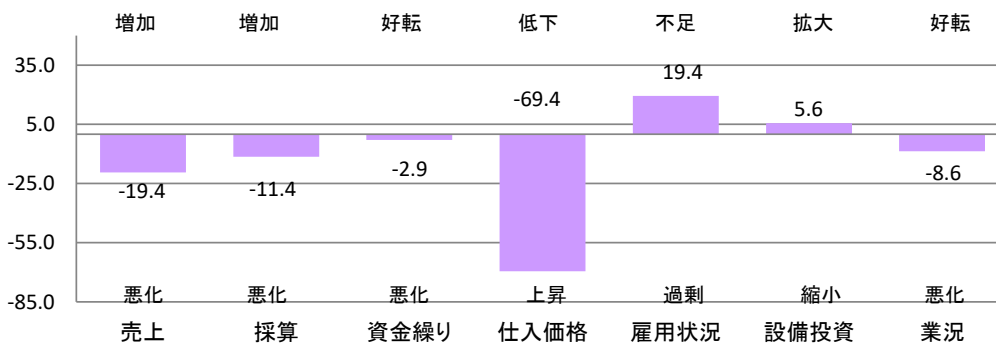
### (1) 製造業

前期比 令和6年1月～3月比



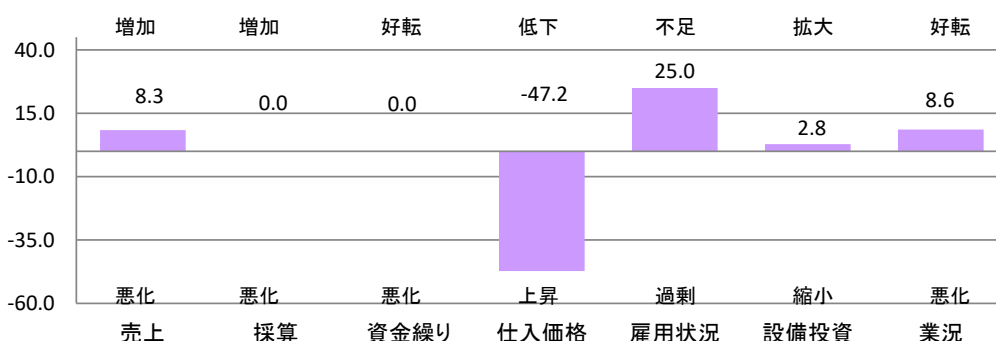
前期と比較すると、売上DI、採算DIは悪化、資金繰りDIは好転、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目はマイナスを示す結果となった。円安、原材料価格・燃料費の高騰により、厳しい状況の事業所が多い。

前年同期比 令和5年4月～6月比



前年同期と比較すると、売上DI、採算DI、資金繰りDI、業況DIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大を示す結果となった。円安、原材料価格高騰、最低賃金引き上げの影響で状況が厳しいと答える事業所が見られた。

来期見通し 令和6年7月～9月見通し

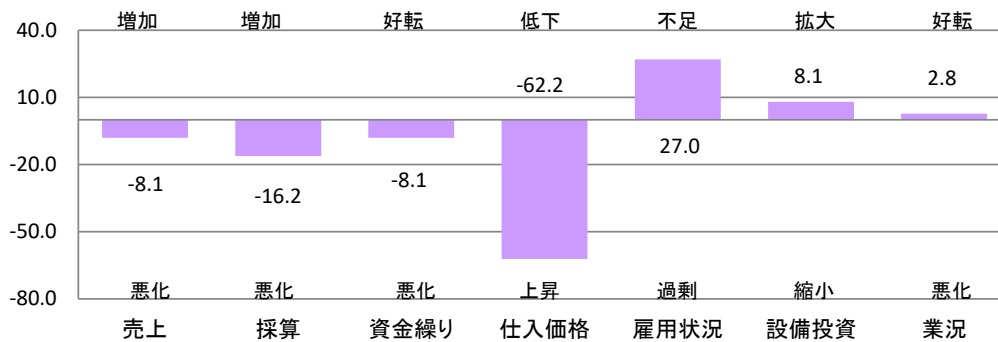


来期の見通しは、売上DIは増加、採算DI、資金繰りDIは0、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは好転の結果となった。業況については不変の回答が多く、価格改定を予定しているものの、資材価格や燃料代が上昇を続けていることを理由に上げる事業所もいた。

## 5. 業種別の景気動向

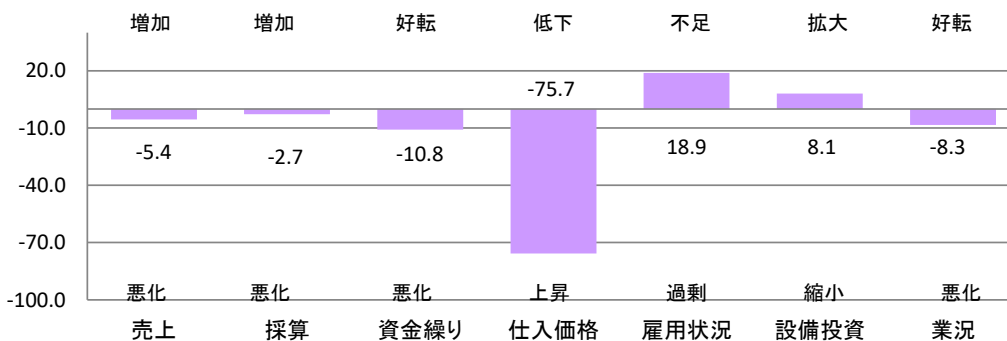
### (2) 建設業

前期比 令和6年1月～3月比



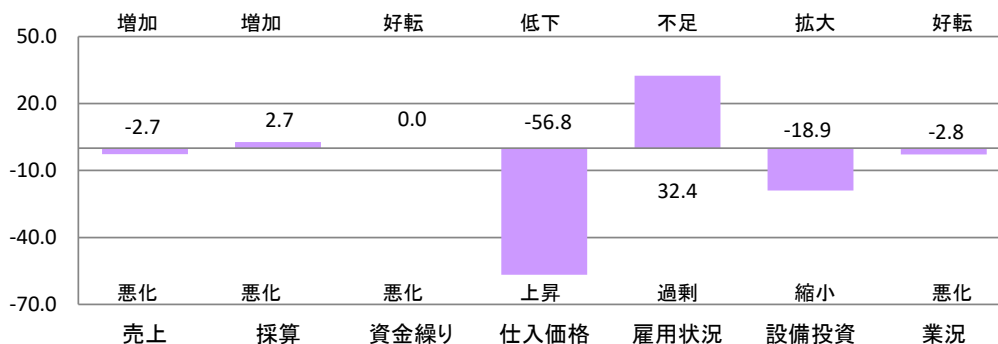
前期と比較すると、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは好転を示す結果となった。年度末の公共工事関係の完成工事が落ち着いたため、前期と比較すると景況状況が悪化していると回答している事業所が多かった。

前年同期比 令和5年4月～6月比



前年同期と比較すると、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは悪化を示す結果となった。前年同期と比較すると4～6月は仕掛が多いこともあり、不変と回答する事業所も多かったが、仕入価格に関しては上昇していると回答する事業所が多数見られた。

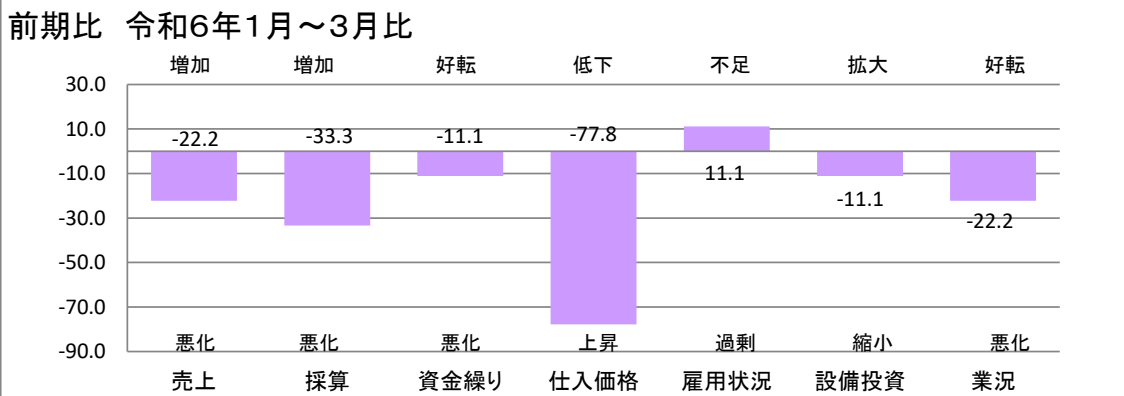
来期見通し 令和6年7月～9月見通し



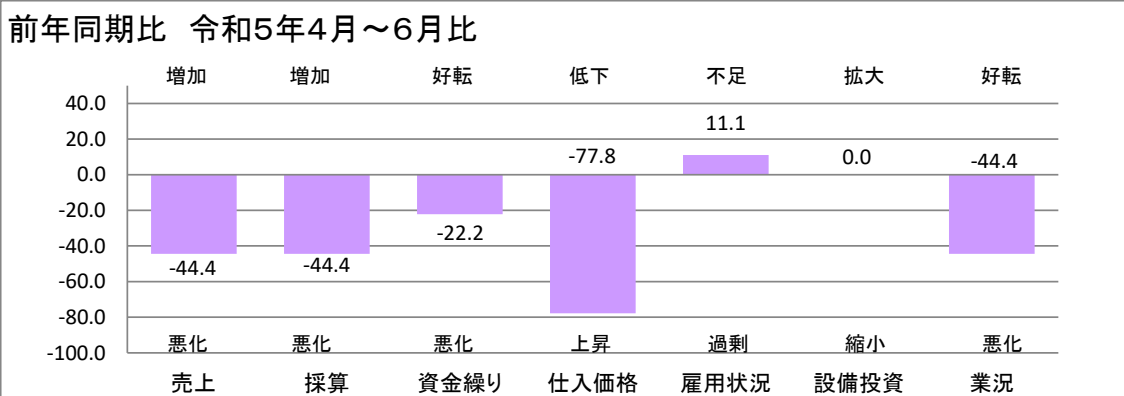
来期の見通しは、採算DIは増加、資金繰りDIは0、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、その他の項目はマイナスを示す結果となった。来期も仕入価格、人件費の上昇について心配する声がある一方で、令和9年に宮崎県で開催される国体関係の現場作業が動き出した関係で好転の見込みと回答する事業所も見られた。

## 5. 業種別の景気動向

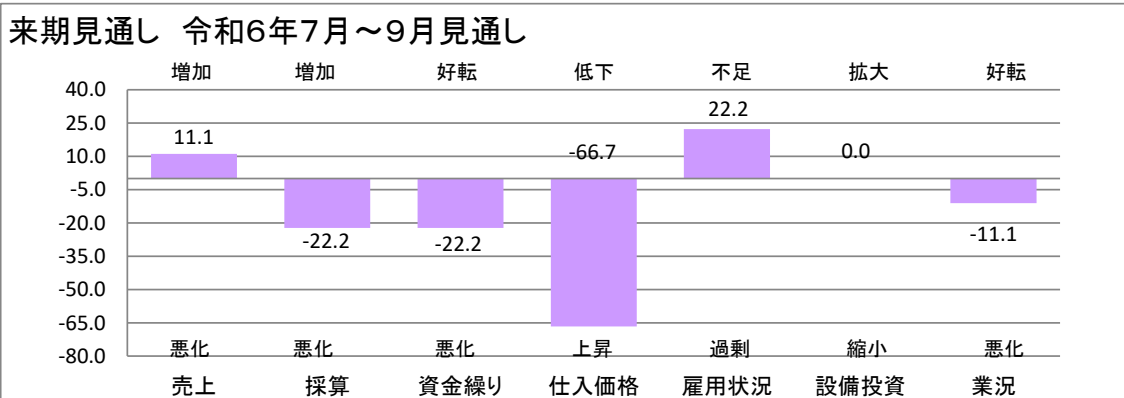
### (3) 卸売業



前期と比較すると、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、それ以外の項目はマイナスを示す結果となった。物価高による取引先の停滞の影響を大きく受けていると回答する事業所が見られた。



前年同期と比較すると、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、業況DIは悪化を示す結果となった。物価高による経費の上昇、賃上げ上昇が影響しており、前年同期と比較すると厳しい状況の事業所が見られる。

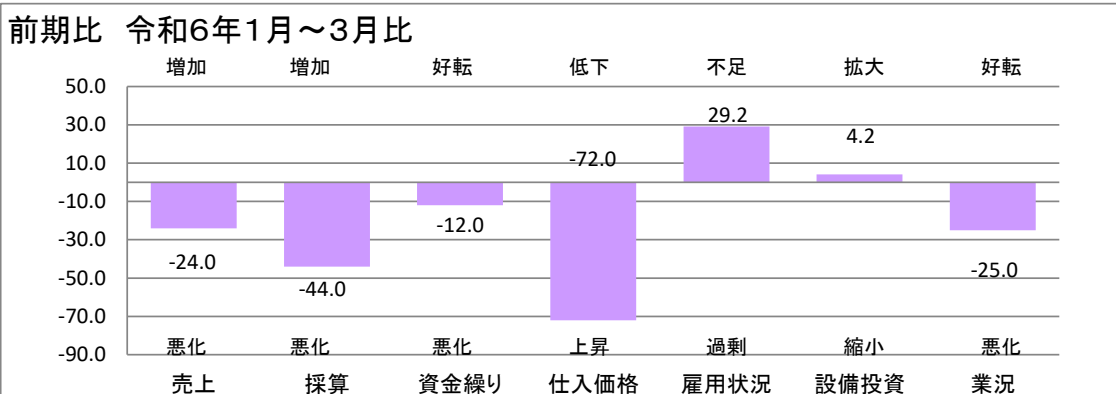


来期の見通しは、売上DIは増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、業況DIは悪化を示す結果となった。物価高、円安による製品価格の上昇を見込む事業所が見られる。取扱商品によっては、7～9月の夏休みによる好転を期待する一方で、建築資材を取り扱う事業者は金利上昇による住宅新築・リフォーム需要への影響を懸念するコメントが見られた。

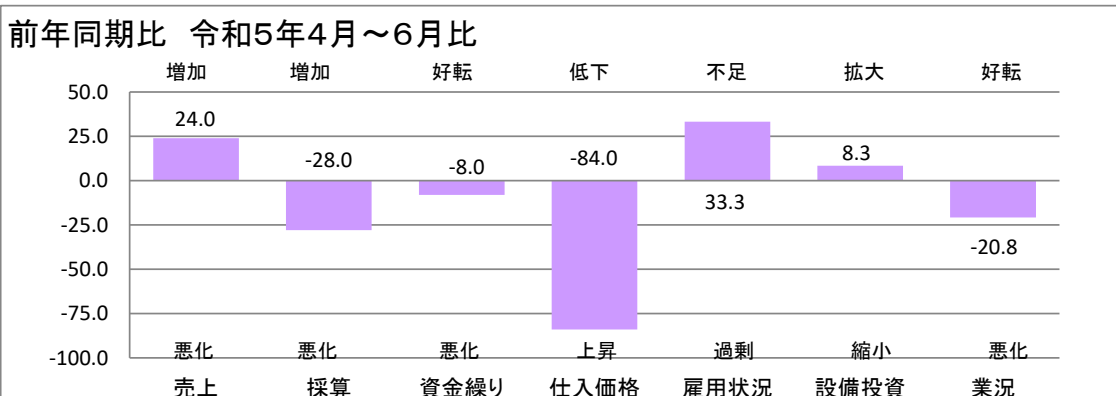


## 5. 業種別の景気動向

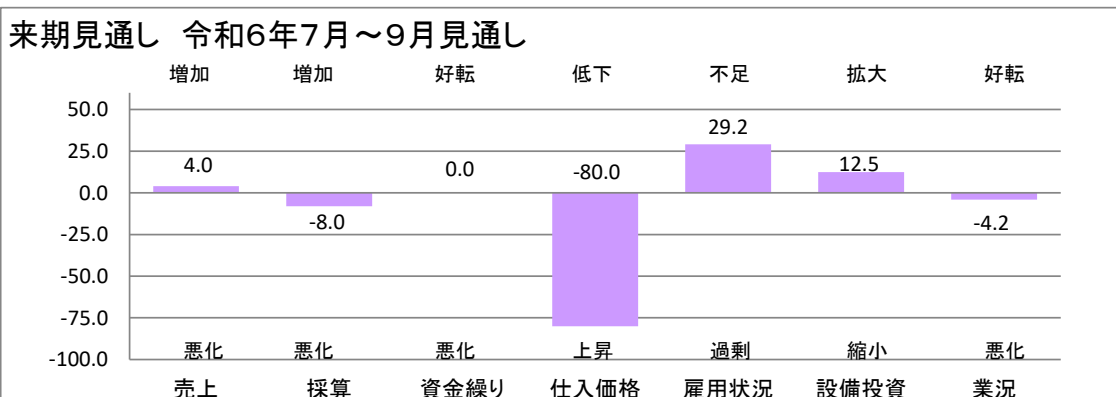
### (4) 小売業



前期と比較すると、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは悪化を示す結果となった。年度末需要のあった前期と比較すると悪化したというコメントが見られた。また、円安の影響と国内の物価高の影響で仕入価格の上昇に影響が出ていると感じている事業者が多く見られた。



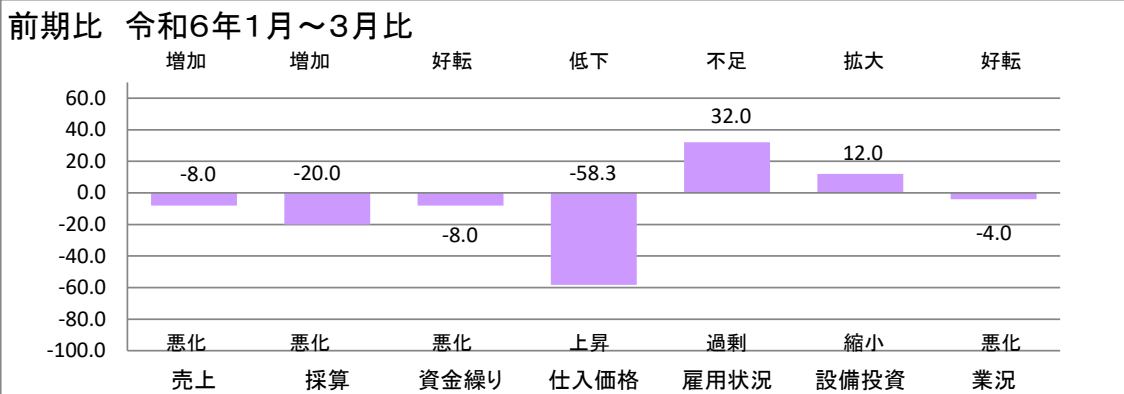
前年同期と比較すると、売上DIは増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは悪化を示す結果となった。前年のコロナ第5類移行による好転と比較すると悪化したというコメントが見られた。また、円安や物価高による仕入価格の上昇が出ていると感じている事業所が多く見られた。



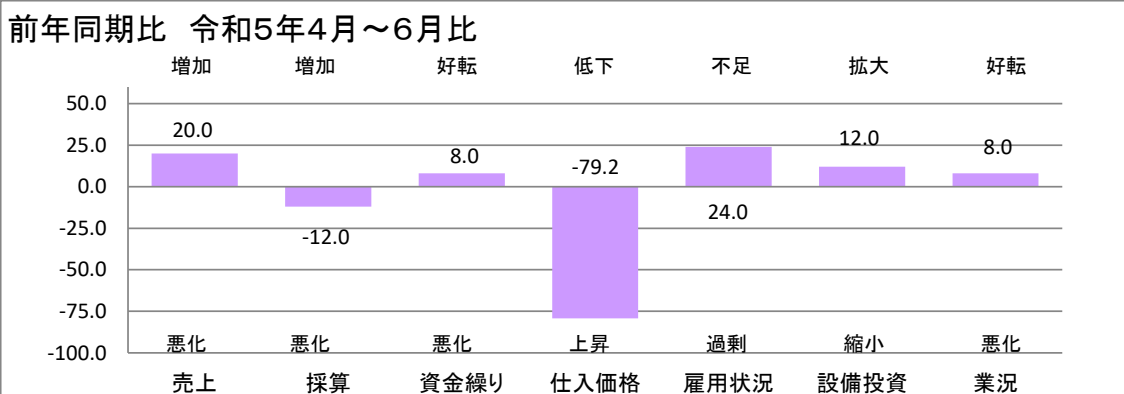
来期の見通しは、売上DIは増加、採算DIは悪化、資金繰りDIは0、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは悪化を示す結果となった。円安と物価高による仕入価格の上昇を懸念するコメントが見られた。

## 5. 業種別の景気動向

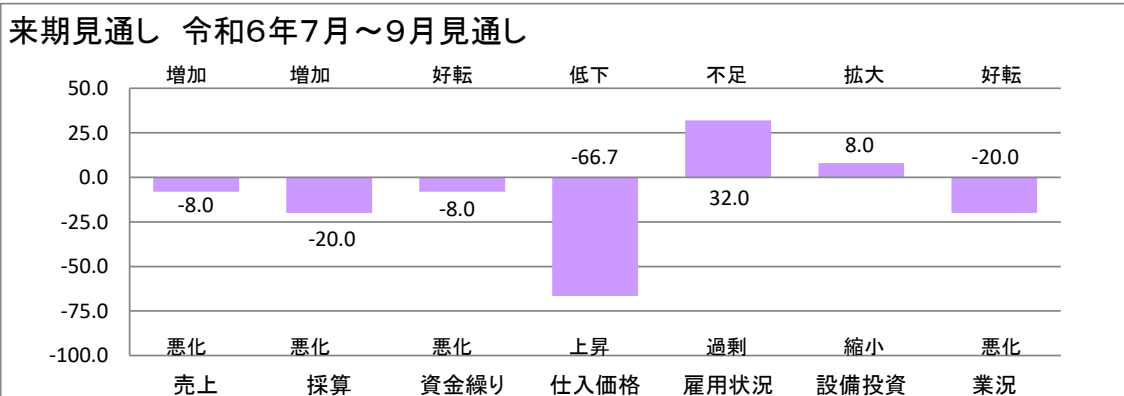
### (5) サービス業



前期と比較すると、売上DI、採算DI、資金繰りDI、業況DIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは悪化を示す結果となった。季節性の要因により、前期と比較して悪化と回答する事業所が見られた。物価高による需要の停滞と賃金引上げによる利益の減少を感じている事業所が見られた。

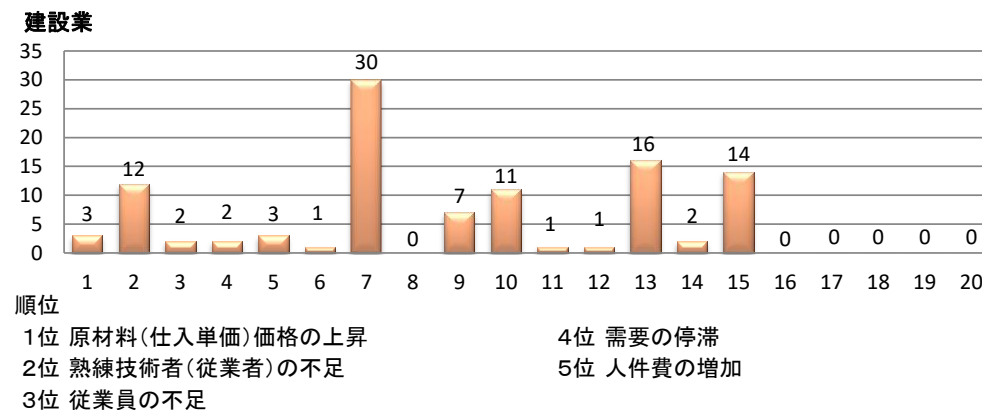
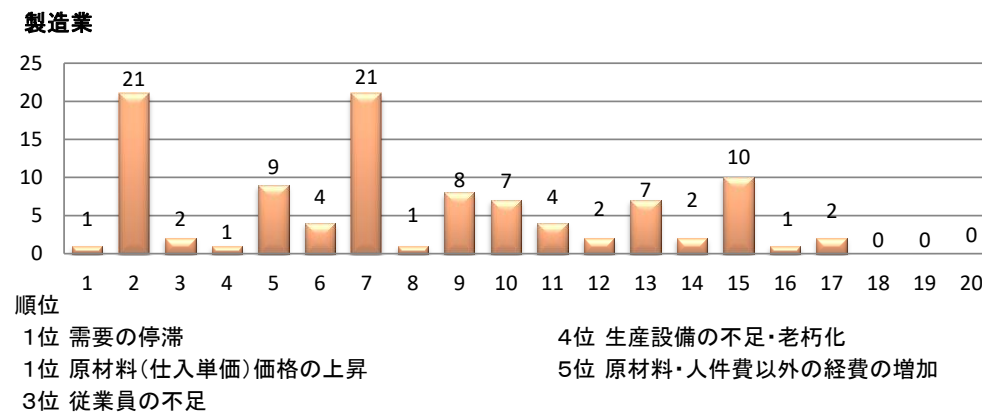
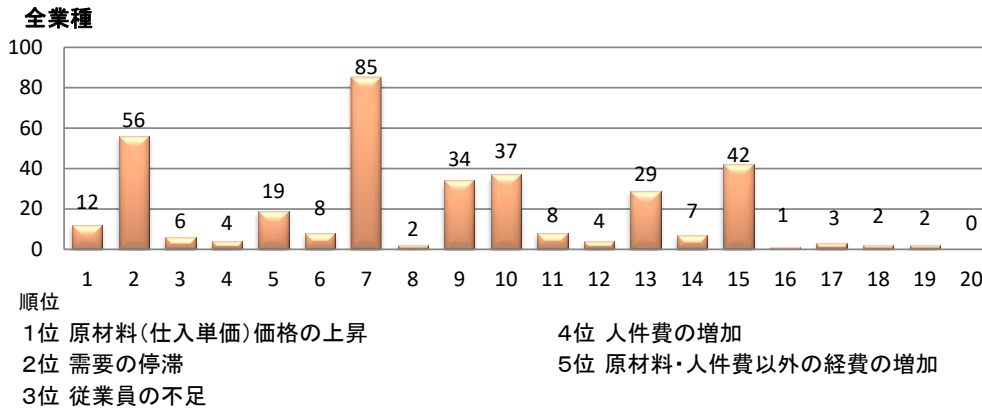


前年同期と比較すると、売上DI、資金繰りDIは増加、採算DIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、その他の項目はプラスを示す結果となった。売上増加の要因として円安の影響によるインバウンド需要、コロナ第5類移行による需要増を上げる一方で、物価上昇による価格転嫁を売上増加の要因とするコメントも見られた。



来期の見通しは、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは悪化を示す結果となった。価格改定の見通しが立たず好転のめどが立たない、物価高による需要の停滞、新紙幣の発行に伴う設備投資を行ったことで広告費が減少し、売上悪化に繋がったと分析する事業所が見られた。

## 6. 経営上の問題点

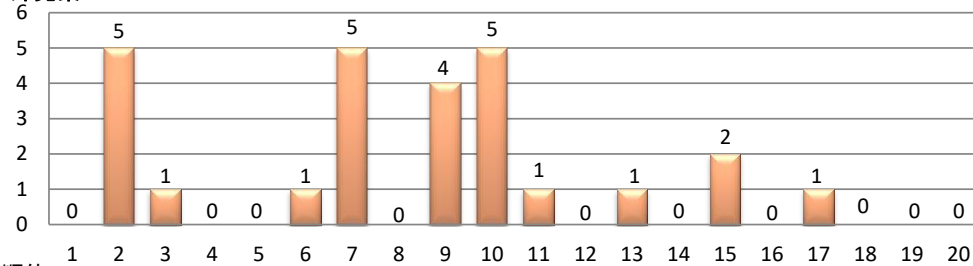


### 【項目一覧】

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

## 6. 経営上の問題点

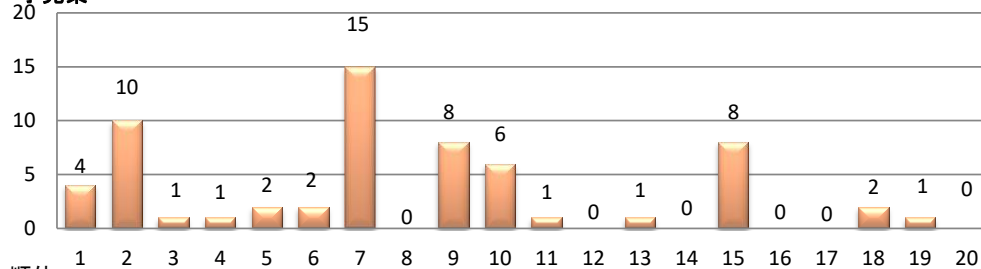
### 卸売業



順位

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1位 需要の停滞          | 4位 原材料・人件費以外の経費の増加 |
| 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 5位 従業員の不足          |
| 1位 人件費の増加         |                    |

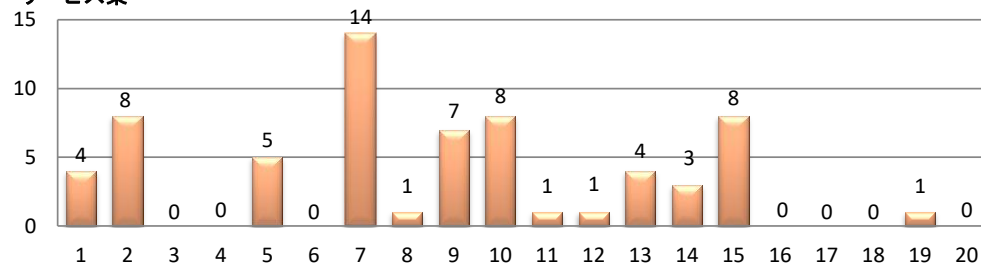
### 小売業



順位

- |                    |           |
|--------------------|-----------|
| 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇  | 3位 従業員の不足 |
| 2位 需要の停滞           | 5位 人件費の増加 |
| 3位 原材料・人件費以外の経費の増加 |           |

### サービス業



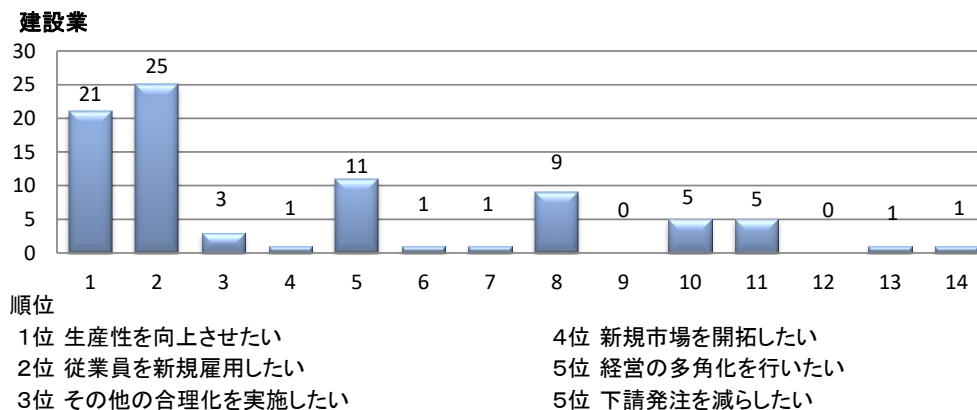
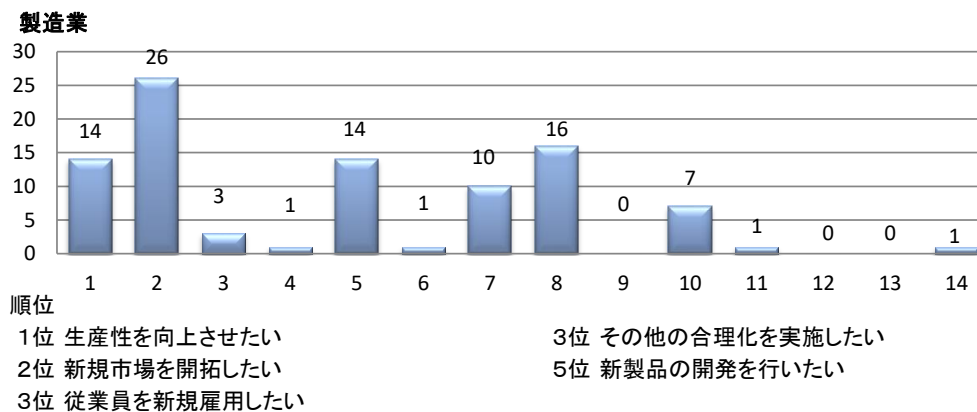
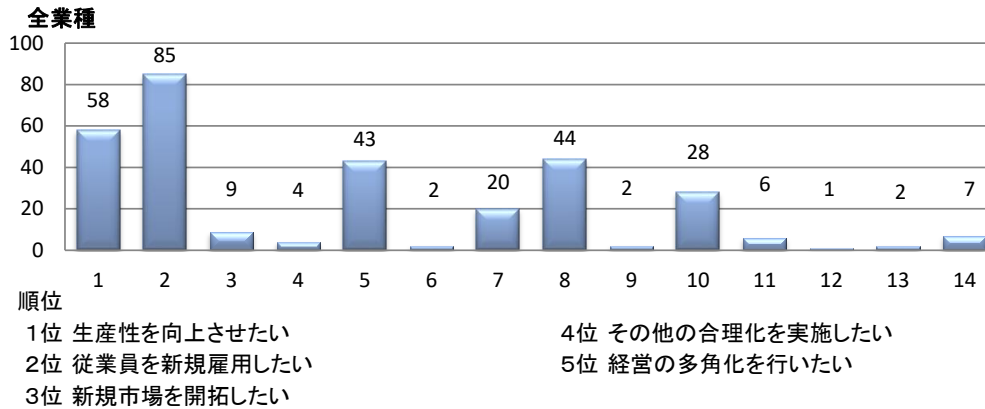
順位

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 2位 従業員の不足          |
| 2位 需要の停滞          | 5位 原材料・人件費以外の経費の増加 |
| 2位 人件費の増加         |                    |

### 【項目一覧】

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化  | 20. 代金回収の悪化  |

## 7. 今後の対応策

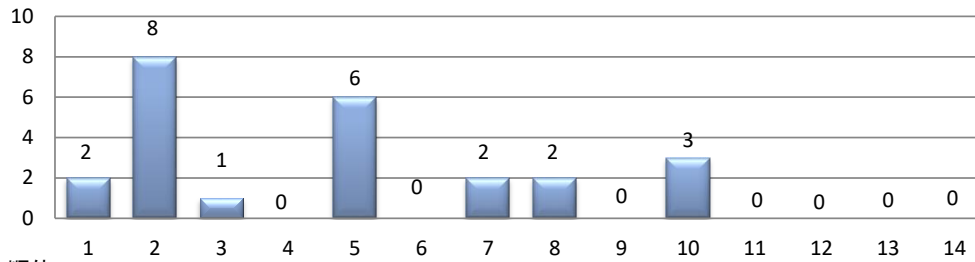


### 【項目一覧】

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい               | 2.生産性を向上させたい        |
| 3.人件費を削減したい                 | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい       |
| 6.金融機関から資金を調達したい            | 9.業種転換を行いたい         |
| 8.新規市場を開拓したい                | 11.下請け発注を減らしたい      |
| 10.経営の多角化を行いたい              | 13.海外から原料・部品を調達したい  |
| 12.海外へ生産拠点を移したい             |                     |
| 14.その他                      |                     |

## 7. 今後の対応策

### 卸売業



順位

1位 生産性を向上させたい

2位 その他の合理化を実施したい

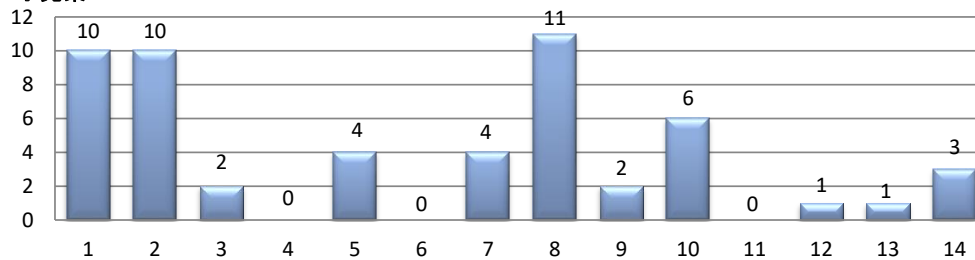
3位 経営の多角化を行いたい

4位 従業員を新規雇用したい

4位 新製品の開発を行いたい

4位 新規市場を開拓したい

### 小売業



順位

1位 新規市場を開拓したい

2位 従業員を新規雇用したい

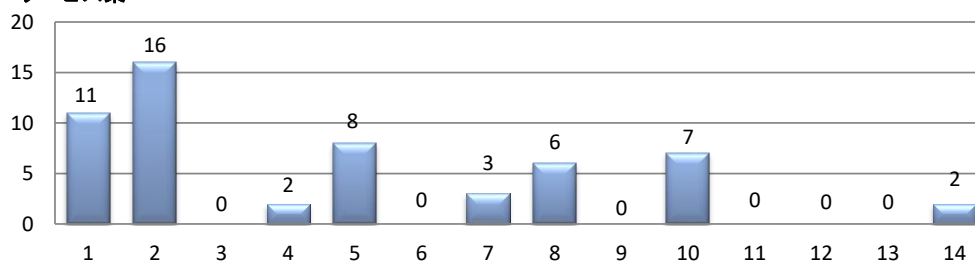
2位 生産性を向上させたい

4位 経営の多角化を行いたい

5位 その他の合理化を実施したい

5位 新製品の開発を行いたい

### サービス業



順位

1位 生産性を向上させたい

2位 従業員を新規雇用したい

3位 その他の合理化を実施したい

4位 経営の多角化を行いたい

5位 新規市場を開拓したい

#### 【項目一覧】

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい               | 2.生産性を向上させたい        |
| 3.人件費を削減したい                 | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい       |
| 6.金融機関から資金を調達したい            | 9.業種転換を行いたい         |
| 8.新規市場を開拓したい                | 11.下請け発注を減らしたい      |
| 10.経営の多角化を行いたい              | 13.海外から原料・部品を調達したい  |
| 12.海外へ生産拠点を移したい             |                     |
| 14.その他                      |                     |

## 8. 国・県への要望

業種名	事業内容	地域	国県への要望
製造業	建築資材製造	都城	物価の高騰による各種の経費増加への対応。
製造業	オフセット印刷物製造	宮崎	色々な施策を計画しているが、本当に中小企業の実態に合っているのか？なかなかハードルが高いように見えて！
製造業	焼酎製造販売	串間	コロナ後となり、企業淘汰されないよう最大限の自助努力に努めていく所存である。
製造業	印刷業	宮崎	零細企業にとって、原材料の値上げはかなり堪える。値上げが、3ヶ月・半年ペースでくるので、顧客に対しての価格転嫁がなかなかできない。
小売業	切花鉢物販売	延岡	2024年問題で花の全国配達(JFTD)など変化が必要です。
小売業	酒小売	日南	人員不足だが正社員として雇用出来るだけの売上げ(粗利)を取れない為苦戦している。土地柄がWワーク需要も少なく感じる。

小売業	石油販売業	西都	石油販売業を行う上で仕入価格と補助枠を改善してもらいたい。9月の月には補助がなくなり、市民への負担は積もるばかりで、老人に対しての支援は少なく、子供支援ばかり重視している。考えてほしいと思う！！
小売業	靴・鞆販売業	西都	円安や原材料高騰による仕入単価が上がり店の個人消費の低迷は依然続いている。又大手メーカーの個店に対する商品の縛りや契約の見直しなど締め付けが出てきている。国はメーカー等の調査をしてほしい。
建設業	管・水道施設工事業	都城	社員の給与を上げたいが、その前に、資材等仕入のコスト増がいつまでつづくか不安で先が見えてこない。技術者の高齢が進みこの先どうなるやら。
製造業	電気機械器具製造業	延岡	生産年齢人口の減少から人材採用難が懸念される。地方、特に中小企業、小規模事業者への採用支援や補助の拡充が必要と感じる。
建設業	塗装業	延岡	宮崎県の企業全体で、県外への営業活動をフォローする施策があると良いと思います。
小売業	工芸品販売	日南	コロナ感染症の軽減、高速道路の開通等、見通しは明るくなりつつあるが、必ずしも景気が回復している訳でもなく、人々の購買意欲は戻っていない。飼肥に限って言えば伝建地区の整備、清掃等に県、国からの予算があると良い。



小売業	事務用品販売	日南	ネットショッピングの普及により、多くの需要が大手企業に流れており、中小企業や町のお店屋さんが、八方ふさがり状態。同じようにネットショップ事業するにも、資金、ノウハウ、法律の壁があり無理。インボイスや電帳法など、いらぬ法制度が多い。無駄な仕事とお金がかかるだけで、利点がそれに見合わない。
卸売業	酒類・食品卸売	日向	国債は税金で返済しないといけないという誤った経済認識を改め、緊縮財政から積極財政へ転換しないと、国力が益々低下すると思います。
小売業	調剤・医薬品販売	西都	薬の業界では、仕入れ困難の薬品もあり、価格上昇に加えて、仕入れ自体も通常ではないので安定した流通を国としてやってほしい。
サービス業	バス事業、旅行事業、航空事業、遊園事業、保険事業、熱供給事業、不動産事業	宮崎	資格取得支援等、業種によっての不足人員の解消策を打ち出して頂きたい。自助努力だけでは難しい所がある。
サービス業	ゴルフ場経営	宮崎	引き続き、「観光宮崎」を盛り上げていただきますようお願いいたします。
建設業	住宅建築業	串間	やはりインボイス制度が始まると、細かい支払等難しい問題が出てきそうです。免税事業者の制度を改める方が先だったのでは。

製造業	コンクリート製品	日南	値上げ分の対策(資材、油、電気代)。
建設業	建設土木	西都	社員の高齢化に合わせ、作業量や作業内容を考慮しながらやっているが、それを補う為の策としてICT等の補助金が、もう少し容易に使える様になる事を望む。
サービス業	民間放送業	宮崎	地域活性化に対してのイベントなどの補助金があると実施しやすいです。
小売業	時計めがね販売修理	宮崎	インボイス制度登録申請で、免税事業者が判断に苦慮している方がかなり多いようです。
小売業	スーパー、精肉卸	日南	まずは雇用の面で県外企業に人材が流れている。県外の人材確保する為には、空き屋などを有効活用できる方法がないか？(社宅として活用し、費用の半分を国・県が負担など)
卸売業	業務用製品卸	日向	減税(経済好循環のために)。

小売業	事務機、事務用品 販売	小林	新規雇用はしたいが、中々採用までいかない。現職員給与との兼ね合いで、高給与での募集はしづらい。インボイス、電帳法等益々業務負担増、システム導入費が見込まれる。
サービス業	総合コンサルティング	日南	とにかく規制緩和。最低賃金の引上げ。生産性が低く国民の福祉に影響しない企業、団体がちゃんと市場から撤退するように、変な補助金とかやめてほしい。国全体で非成長産業から成長産業に人員が移動できるよう、人材の流動性を高める。撲滅、ゾンビ企業！
サービス業	ホテル	日南	長い支援を期待します。(100を1ヶ月よりも、10を10ヶ月のように)
サービス業	飲食業	日南	地域振興券みたいな希望です。(現金だと貯金になっちゃうので)
サービス業	廃棄物処理業	日南	賃上げを促進したいのであれば、企業に対して増税しないでほしい。
サービス業	自動車整備業	西都	減税！